

# 川北町農業活性化協議会（石川県能美郡川北町）

## 組織の概要

- 耕地面積 755ha（田：741ha、畑：14ha）
- 総農家 155戸、販売農家 103戸（主業：15、準主業：20、副業：68）
- 加賀平野の中央部に位置し、霊峰白山を源とする手取川に沿って東西に細長い町
- JA能美（事務局）が中心となって、川北町、県等と連携し、主力作物の麦・大豆の他、たまねぎ、ブロッコリー、かぼちゃ、いちじく等を高収益作物と位置づけ、水田フル活用を積極的に推進



## 生産概要

- 【作付面積】水稲：514ha、六条大麦：126ha、大豆：139ha（R6年）
- 2年3作の輪作（稲→麦→大豆）、ブロックローテーション実施
- 産地交付金の他、大麦、大豆振興を目的に町単独事業で助成
- 町単独事業でスマート農業への助成を行い、農業の効率化を積極的に推進

航空写真（川北町）



## 取組のポイント

### <需要に応じた生産を徹底>

- 実需者（(株)はくばく、全国麦茶工業協同組合等）との意見交換を実施し、安定的な原料確保や硬質麦削減など品質向上の要望を踏まえ①安定供給のための単収向上対策及び②きめ細やかな品質チェックによる品質向上対策に取り組んでいる。

### <単収増加対策を徹底指導>

- 集落ごとの団地化に取り組み、作業の効率化、担い手への農地集積を推進
- 全生産者圃場で土壌を分析、土づくり、施肥設計に反映
- 生産者カルテを作成し、全生産者の生育を把握、追肥や防除等の適期作業を強力に推進

### <品質向上（硬質麦削減）対策を徹底指導>

- 生産者の硬質麦発生状況を調査、施肥設計に反映
- 生育に基づいた止葉展開期追肥の適期施用により硬質麦発生を抑制

栽培講習会を開催し、単収・品質向上対策を指導



生育状況を確認し、生産者に追肥の適期施用を指導

## 取組成果

### <大麦生産の高位安定化を実現>

- ①団地化・ブロックローテーションによる作業効率化、②土壌診断に基づいた土づくり、施肥設計及び③生産者カルテによる適期作業の徹底などにより単収が13%増加  
（【単収】341kg/10a（R5）→387kg/10a（R6））
- 硬質麦削減対策の徹底により、品質が向上  
（【品質】等級：一等、ランク：C（R5）  
→等級：一等、ランク：A（R6））

大麦単収（川北町）

